

2026年9月18日

「電気の道の守り人『配電工』発掘プロジェクト」 電柱広告の掲出開始について

東北電力ネットワーク株式会社（宮城県仙台市、代表取締役社長：高野広充）と東北送配電サービス株式会社（宮城県仙台市、取締役社長：佐藤修一）は、配電工※の認知度向上と将来の担い手確保を目的に、9月10日より、東北6県および新潟県の計49基の電柱への広告掲出を順次開始しております。

配電工事業界では、担い手不足や従事者の高齢化が課題となっており、電力の安定供給を支える人材の確保・育成が求められています。こうした状況を踏まえ、両社および関係工事会社では、配電工の認知度向上と将来の担い手確保に向けて、「電気の道の守り人『配電工』発掘プロジェクト」を展開しております。今回、本プロジェクトの一環として電柱広告を掲出するもので、配電工の認知度向上や人材確保を目的とした電柱広告としては、東北電力グループ初の取り組みとなります。

今回の取り組みでは、東北電力企業グループの東北送配電サービスが展開する電柱広告事業を活用し、暮らしに身近な電柱を媒体として配電工の仕事をPRすることで、多くの方々に配電工という仕事を知っていただき、将来の担い手確保につなげてまいります。

両社は今後も関係工事会社と連携しながら、配電工や配電工事業界の魅力を発信していくとともに、人材確保に向けた取り組みを展開し、電力の安定供給を支えてまいります。

※電柱や電線などの配電設備の建設・保守を担い、災害時には停電復旧作業にも従事するなど、暮らしに欠かせない電力インフラを最前線で支える専門職。

【電柱広告掲出イメージ】



以 上

「電気の道の守り人『配電工』発掘プロジェクト」特設サイトは[こちら](#)